

会 員 広 場

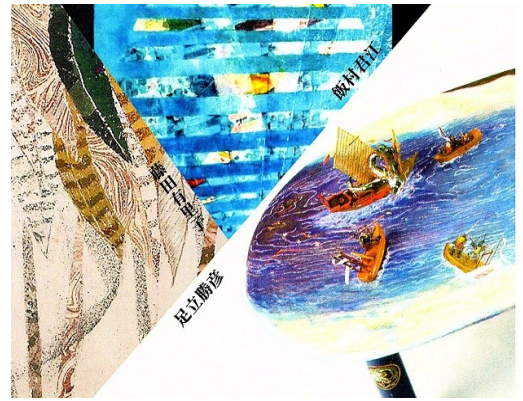
「京作家夢見月展」二人展を終えて

京都支部 飯村君江&藤田有里子



新型コロナウイルス
対策万全で・・・

京都支部からの作家三人展を東京で出来たらと、三月に照準を合わせ作品を仕上げてまいりましたが、新型コロナウイルスの影響大きく、開催するの否かの決断に三人が苦しみました。
足立勝彦氏は「自身の体調を考慮し辞退され、急遽、飯村君江さんと私で苦渋の



京作家 夢見月展



会場風景

東京交通会館B一
エメラルドルーム

決断をしての二人展となりました。
有楽町駅すぐの交通会館という立地のいい場所での七日間(三月一日〜七日)。やはり行き交う人は少なかったですが、ご興味のある方が入ってきてくださりゆつくりとご覧下さり作品のお話もできました。今では開催してよかったですと思っています。
新日美の大先輩方も多くご来場下さり誠にありがとうございました。

さきたま支部だより 支部長 住佐 美紗子

さきたま支部展を 無事に終えて

心配しながらの開催だったが二月二三日の初日は天気にも恵まれ、作品も昨年より大きいものが集まり充実することができた。
「予定どおりやるんですか」という問合せが二件、「やるつきやないでしょ」と返事をしたものの、内心ちらつと不安がよぎった。

一四名の出品者は油彩、水彩、墨彩、版画。参加者は観客を集める努力をしてくれた。地元に着した感じがあつたが参加した人達の意気が上がったのもたしかで嬉しかった。

会場とりで二回も抽せんにはずれ、三月にやりたかったのに二月のキャンセルにやつとすべりこんだ日程だったので、第一希望の三月だとしたら、開催できなかつたと思う。支部展の取りやめの連絡が相づぐなな、弱小(?)支部としては、良かったと言える。

来て下さった方々は相変わらず、みんな良く言えば個性的、それぞれ自由に好き勝手に作品をつくってきて発表するスタイルは、ず

「つと続いていて、しかも皆、別々のところできつかり勉強していて、開けてみるまでその内容がつかめないという、全く、行きあたりばつたりなのに、展示してみると、うまく調和して、らしく会場を飾ってくれる。

今回はとくに参加者全員の力とそのつながりを強く感じた。大宮で再出発したさきたま支部展は、みんなできつくりあげたつくづく感じた。
新日美の全体でもたたくさんの問題をかかえているが、さきたま支部展はこの会場で、このスタイルで続けていきたいと願っている。

第一五回新日美さきたま支部展
二月二三日(日)〜二六日(水)
会場 氷川の杜文化館



“鈴木事務局長を迎えて”